

コーディネーターだより

令和7年1月
八代支援学校
文責 橋本

《重複学級と一般学級の交流の様子から》

中学部では、学部集会、音楽、体育、生活単元学習等で重複学級と一般学級と一緒に学習しています。これまで以上に「子供同士の関わる機会を増やし、友達と楽しく学校生活を送って欲しい。」という重複学級担任と保護者の願いを受けて、今年度は、より多くの交流の場が設けられています。今回は、その様子を紹介します。

《朝の挨拶回り》

登校後、重複学級の塚本凜歌さんが各教室を回って「おはようございます。」の挨拶をしています。最初は、お互いにどう接していいか分からず、戸惑う様子もありましたが、回を重ねる毎に自然に挨拶を交わす姿が見られるようになってきました。今では、「凜ちゃん来たぞー。」という生徒のかけ声で一斉に駆け寄って来て「おはよう」の挨拶を交わすクラスもあるということです。そんな友達の様子を見て、凜歌さんも嬉しそうな表情をしたり、眠そうだった目をパチリと開けたりする姿があるそうです。

《学部集会での話》

徳田先生から、挨拶回りのことも含めて自分が重複学級の担任になって疑問に思ったこと、知らなかったこと等を一般学級の生徒にイラストや写真を使って分かり易くお話しされました。凜歌さんの給食の様子を話されたことに対して、「流動食って何？」という質問が生徒から出たそうです。

2学期の集会では、自立活動の内容や車椅子からベッドへの移乗の様子などを紹介されました。同じ学部で学習していても、知らなかったことや疑問に思っても聞けなかったことを聞いて、お互いを知る機会になったと思います。

今回は、取組の一部を紹介させていただきました。

11月の修学旅行の時には、3年生の皆がおこづかいを出し合って凜歌さんにお土産を買ってきたそうです。また、入院し、退院後初めて登校した挨拶の回りの時は、すぐに近寄って声を掛ける生徒、握手をしに来る生徒、それぞれの関わり方で退院を祝う姿が見られました。担任の徳田先生が意識されて取り組まれた成果だと思いました。



挨拶回りの様子